

●小単元1	「学校のまわりは、どんなようすなの」(3・4年上教科書 p.10~23)
-------	--------------------------------------

①小単元の目標

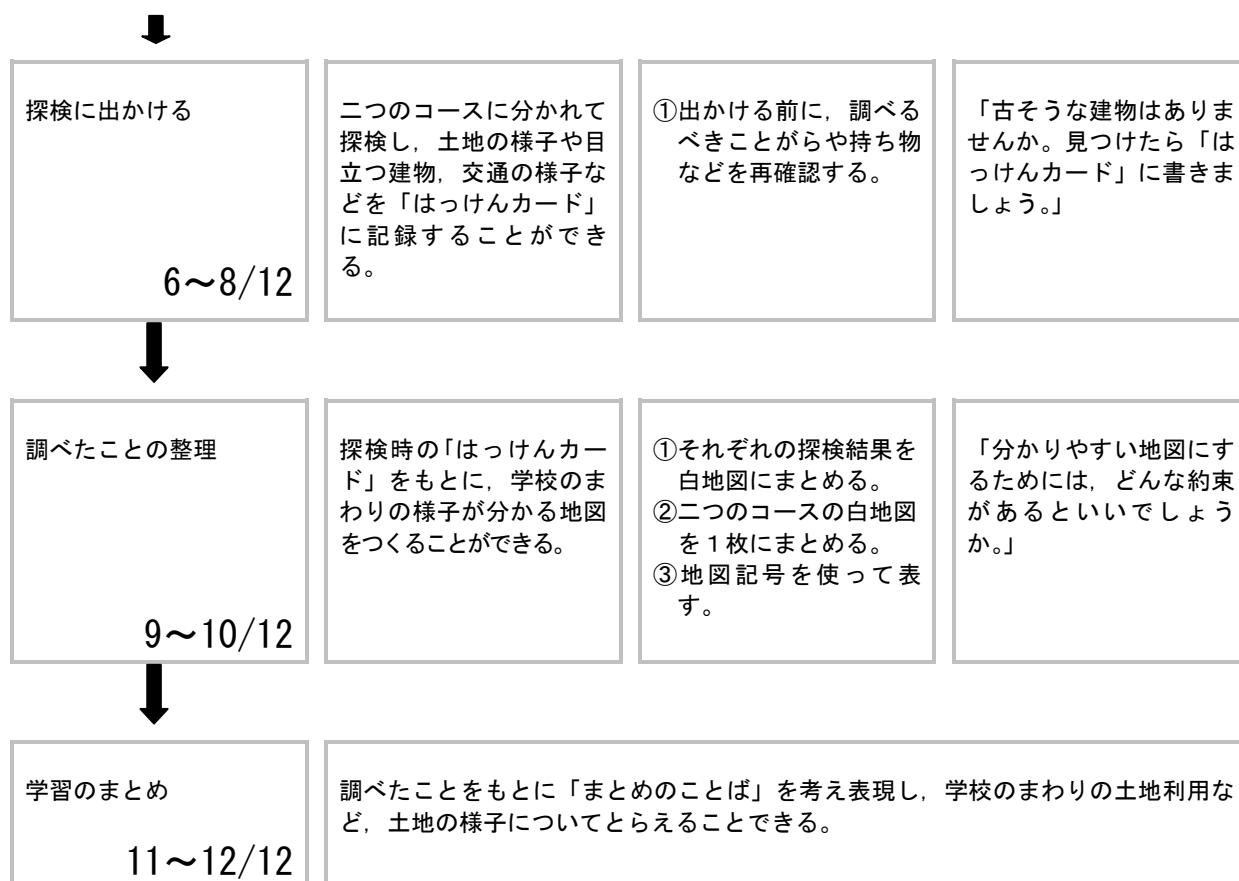
学校のまわりの様子に関心をもち、地形や土地利用、目立つ建物、交通の様子、古くから残る建造物などについて調べ、学校のまわりの様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
学校のまわりの様子に関心をもち、意欲的に調べたことをもとに、自分が生活する身近な地域の様子の特色について考えようとしている。	学校のまわりの様子について学習問題をもって追究し、調べたことをもとに、学校のまわりは、場所によって様子に違いがあることを考え、適切な言葉で表現している。	次のことについて見学したり調査したりして具体的に調べ、調べたことを地図に表している。 ・土地利用の様子…家や店、工場などの多いところ、田畑の多いところ ・交通の様子、古くから残る建造物など	学校のまわりには、田や畑の多いところ、店や家の集まっているところなどがあること、交通の様子や古くから残る建造物などについても、場所によって違いが見られることを理解している。

③小単元の学習の流れ(12時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
学習問題をつかむ 1~4/12	学校のまわりの写真や地図から、周辺の様子をもっと知りたいという意欲をもち、学習問題をもつことができる。	①学校の屋上から見える様子で気づいたことを発表し合う。 ②学校のまわりで知っているところの地図をかく。	「学校の屋上から、どんなものが見えるでしょうか。」 「方角によって、どのように様子が違うでしょうか。」
探検の計画を立てる 5/12	学校のまわりを調べる探検の計画を立てることができる。	①調べることがら、白地図に書き込むしるし、持ち物、注意事項などを考える。	「探検では、どんなことを調べるとよいと思いますか。」



④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
B 学校のまわりの様子に関心をもち、観察や見学などの活動を通して、意欲的に調べていた。	B 学習計画にそって調べを進め、学校のまわりの様子について、場所によって土地利用の違いがあることを考えていた。	B 学校のまわりを探検するなどして、土地利用や道路の様子などを具体的に調べ、白地図上におよその様子を書きとめていた。	B 学校のまわりには、田や畑の多いところ、店や家の集まっているところなどが分かっていった。
A B基準に加え、自分が生活する地域の様子の特色やよさについて関心を深め、進んで地域を調べようとする意欲的な態度が見られた。	A B基準に加え、学校のまわりの様子について、土地利用の違いや特色を適切な言葉で分かりやすく表現していた。	A B基準に加え、完成した絵地図には、場所による様子の違いや特色が分かりやすく表現されていた。	A B基準に加え、土地利用や建物の景観だけでなく、交通の様子などについても、場所によって違いが見られることをじゅうぶん理解していた。

⑤「調べたことの整理」における観察・資料活用の評価例

この学習では、学校のまわりの様子を観察したり調査したりして調べたことを、絵地図や白地図に、場所による様子の違いや特色を分かりやすく整理して表すことが大切である。したがって、土地利用の様子、交通の様子、古くから残る建造物などが白地図上にほとんど書きとめられていなかった児童は「努力を要する」、白地図上におよその様子を書きとめていた児童は「できていた」、できあがった絵地図に、場所による様子の違いや特色を分かりやすく整理して表すことができた児童を「よくできていた」と評価する。

●小単元2	「市のように、どうなっているの」 (3・4年上教科書 p.24~37)
--------------	--

①小単元の目標

市全体の様子に関心を持ち、地形や土地利用の様子や、おもな公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて調べ、市の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
市全体の様子に関心を持ち、意欲的に調べたことをもとに、自分が生活する市の様子の特色について考えようとしている。	市全体の地形や土地利用の様子について学習問題をもって追究し、調べたことをもとに、市の地形や土地利用は、場所によって違いがあることを考え、適切な言葉で表現している。	次のことについて写真や地図などを活用して具体的に調べている。 ・市全体の地形 ・土地利用の様子 ・鉄道や道路など ・おもな公共施設などの場所と働き	市の地形や土地利用の様子、おもな道路や鉄道などの様子、さらに市には色々な公共施設や古くから残る建造物があり、市民の生活に役立っていることを理解している。

③小単元の学習の流れ(11時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
学習問題をつかむ 1/11	航空写真から、市全体の地形や土地利用に関心を持ち、学習問題をつかむことができる。	①写真を見ながら、気づいたことを話し合い、学習問題をつかむ。	「教科書の写真から、どのようなものが読み取れますか。」
	土地利用図から市全体の土地利用の様子をつかむとともに、市全体の様子についての関心を高め、調べる計画を立てることができる。	①金沢市の土地利用図の読図を手がかりに、自分たちの住む市の土地利用図を読み、市について調べたいことを話し合い、調べる計画を立てる。	「わたしたちの市の土地利用図から、どんなことが分かりますか。」 「どんな方法で調べたらよいでしょうか。」
市の様子を調べる計画を立てる 2~3/11			



<p>グループごとに、自分たちが選んだテーマについて調べる。</p>	<p>○市内の他の学校のまわりと自分の学校のまわりの違いに気づくことができる。 ○市には住民のための施設が多くあることに気づくことができる。 ○市全体を結ぶ交通の役割に気づくことができる。 ○市内には古い建物や伝統工芸など、たくさん見所があることに気づくことができる。</p>	<p>①市内の他校と電子メールを交換して、学校のまわりの様子を知らせ合う。 ②市役所に行って、どこにどんな市の施設があるかを調べる。 ③鉄道駅やバスターミナルを見学したり係の人にインタビューしたりする。 ④市の観光案内所でパンフレットを集め、市の見所を整理する。</p>	<p>「わたしたちの学校のまわりとどんな違いがありますか。」 「市の人々が使う施設には、どんなものがあるのでしょうか。」 「市の交通について、どんなことがわかりますか。」 「市には、どんな見所があるのでしょうか。」</p>
------------------------------------	--	---	---

4~9/11



<p>学習のまとめ 10~11/11</p>	<p>調べたことをもとに「まとめのこぼし」を考え表現するとともに、グループごとに調べたことを発表し合い、市全体の様子を多面的にとらえることができる。</p>
----------------------------	--

④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
<p>B 市全体の様子に関心をもち、航空写真や地図を、意欲的に読み取ろうとしていた。</p>	<p>B 学習計画にそって調べを進め、市の地形や土地利用の特色、おもな公共施設の働き、古くから残る建造物の役割などについて考えていた。</p>	<p>B 市全体の地形や土地利用の様子を地図や写真から読み取り、気づいたことを「はっけんカード」に書きとめたり、白地図などに表したりしていた。</p>	<p>B 市全体の様子、とくに山地や平地の分布、川の流れ、土地利用の様子、道路や鉄道などの様子を理解していた。</p>
<p>A B基準に加え、自分たちの住む市の様子に関心を深め、進んで地域を調べようとする意欲的な態度が見られた。</p>	<p>A B基準に加え、市全体の様子は、地形や土地利用の様子など場所によって違いがあることを考え、適切な言葉で発表していた。</p>	<p>A B基準に加え、「はっけんカード」を、市全体の地形や土地利用などの様子が場所によって違うことが分かるように、分類して整理していた。</p>	<p>A B基準に加え、公共施設や古くから残る建造物が市民生活に役立っていることについても、十分理解していた。</p>

⑤「自分たちが選んだテーマで調べる」における社会的事象への関心・意欲・態度の評価例

この学習では、市全体の様子に関心をもって意欲的に調べ、それをもとに市の様子の特色について考えようとする態度をもつことが大切である。したがって、市全体の様子に関心を示さず、航空写真や地図での観察や市の施設での調査に意欲をもっていなかった児童は「努力を要する」、進んで調査したりインタビューしたりしていた児童は「できていた」、調査やインタビューの内容に、市全体の地形や土地利用の特色、おもな公共施設の位置や働き、古くから残る建造物の役割などについて考えようとする態度が見られた児童を「よくできていた」と評価する。

●小単元1	「店の人は、どんなくふうをしているの」 (3・4年上教科書 p.42~57)
-------	--

①小単元の目標

地域に見られる販売の仕事に関心を持ち、スーパーマーケット（以下スーパー）を例にして、それらは自分たちの生活を支えていること、また、販売の仕事の特色や国内外の他地域との関わりなどについて調べ、その仕事に携わっている人々の工夫を、消費者側の工夫と関連づけて考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
スーパーなど、地域に見られる販売の仕事に関心を持ち、意欲的に調べたことをもとに、地域に見られる販売の工夫や人々の仕事について考えようとしている。	スーパーで買い物をする人が多いのはなぜか、学習問題をもって追究し、調べたことをもとに、販売の仕事に携わる人々の工夫について消費者側の工夫と関連づけて考え、適切な言葉で表現している。	次のことについて具体的に調べ、「はっけんカード」に書きとめている。 ・スーパーの店内の様子 ・店員の仕事の様子 ・客から見たスーパーのよさ ・商品の仕入れと工夫	スーパーなどでは、全国各地や外国の産地から仕入れた多種多様な品物を並べ、客が自由に品物を選択できるなど、消費者のニーズに応えるための工夫が見られることを理解している。

③小単元の学習の流れ(14時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
学習問題をつかむ 1~3/14	各自の家の買い物調べの結果から、スーパーで買い物をする人がどうして多いのかという学習問題をつかむことができる。	①買い物地図や表、グラフをつくり、読み取ったことについて話し合う。 ②スーパーで買い物をする人が多いのはなぜか、話し合う	「みんなが買い物に行ったことのあるお店を出し合ってみましょう。」
↓			
調べる計画の立て方 4~5/14	学習問題の答えの予想を確かめるための、調べる計画を立てることができる。	①スーパーを見学する計画を立てる。 ②見学の際の持ち物や注意すべきことを話し合う。	「個人商店とスーパーの違いはどんなことでしょうか。」
↓			

<p>店の見学</p> <p style="text-align: center;">6~8/14</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>店の内外の様子を観察するとともに、お客さんや店長へのインタビューを行い、スーパーで買い物をする人が多い理由を考えることができる。</p>	<p>①店の内外を観察して、買い物客を多く集めるための工夫を探す。 ②お客さんにその店に来る理由、店長に販売以外の面での工夫についてインタビューする。</p>	<p>「このお店の魅力はどこにあるのか探してみよう。」</p>
<p>見学の整理</p> <p style="text-align: center;">9~12/14</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>「はっけんカード」やお客へのインタビューから、店が客のニーズに応えようとして様々な工夫を行っていることに気づくことができる。</p>	<p>①気づいたことやインタビューから、販売の上で有効だと思われる事項を整理するとともに、商品とその産地を地図に表して他地域との結びつきを知る。</p>	<p>「このお店にまた来たいかなるような理由は見つかりましたか。」 「同じ品物は、いつも同じところから仕入れているのでしょうか。」</p>
<p>学習のまとめ</p> <p style="text-align: center;">13~14/14</p>	<p>調べたことをもとに「まとめのこぼし」を考え表現し、くらしを支える販売の工夫についてとらえることができる。</p>		

④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
<p>B スーパーなど、地域に見られる販売の仕事に関心をもち、意欲的に調べていた。</p>	<p>B 学習計画にそって調べを進め、スーパーに来る消費者のニーズや、販売の仕事に携わる人々の工夫の意味を考えていた。</p>	<p>B スーパーの店内や店員の仕事の様子、客から見たスーパーのよさ、仕入れの工夫などを見学し、「はっけんカード」に書きとめて、具体的に調べていた。</p>	<p>B スーパーでは、多種多様な品物を集め、陳列の仕方を工夫したりして、消費者のニーズに応えるようにしていることを理解していた。</p>
<p>A B基準に加え、地域の販売の仕事に関心を深め、他の店についても調べようとする意欲的な態度が見られた。</p>	<p>A B基準に加え、販売の仕事をしている人々は、消費者のニーズに応えるための工夫をしながら仕事をしていることを考え、発表会などで適切に表現していた。</p>	<p>A B基準に加え、「はっけんカード」を、販売の仕事をしている人々の工夫が分かるように整理していた。</p>	<p>A B基準に加え、商品の仕入れ先を調べたりして、国内外の地域と関わりがあることについても、十分理解していた。</p>

⑤「学習問題をつかむ」における社会的な思考・判断・表現の評価例

この学習では、各自の家の買い物調べの結果を集約して、スーパーで買い物をする人がどうして多いのかという学習問題をつかむことが大切である。したがって、買い物調べの結果から学習問題を見出せなかった児童は「努力を要する」、買い物調べの結果からの確な学習問題を見出した児童は「できていた」、見出した学習問題に対して、これまでの経験や買い物調べ中の取材内容を根拠に予想を立てることができた児童は「よくできていた」と評価する。

●小単元2	「物をつくる人は、どんなくふうをしているの」(3・4年上教科書 p.60~79)
-------	--

①小単元の目標

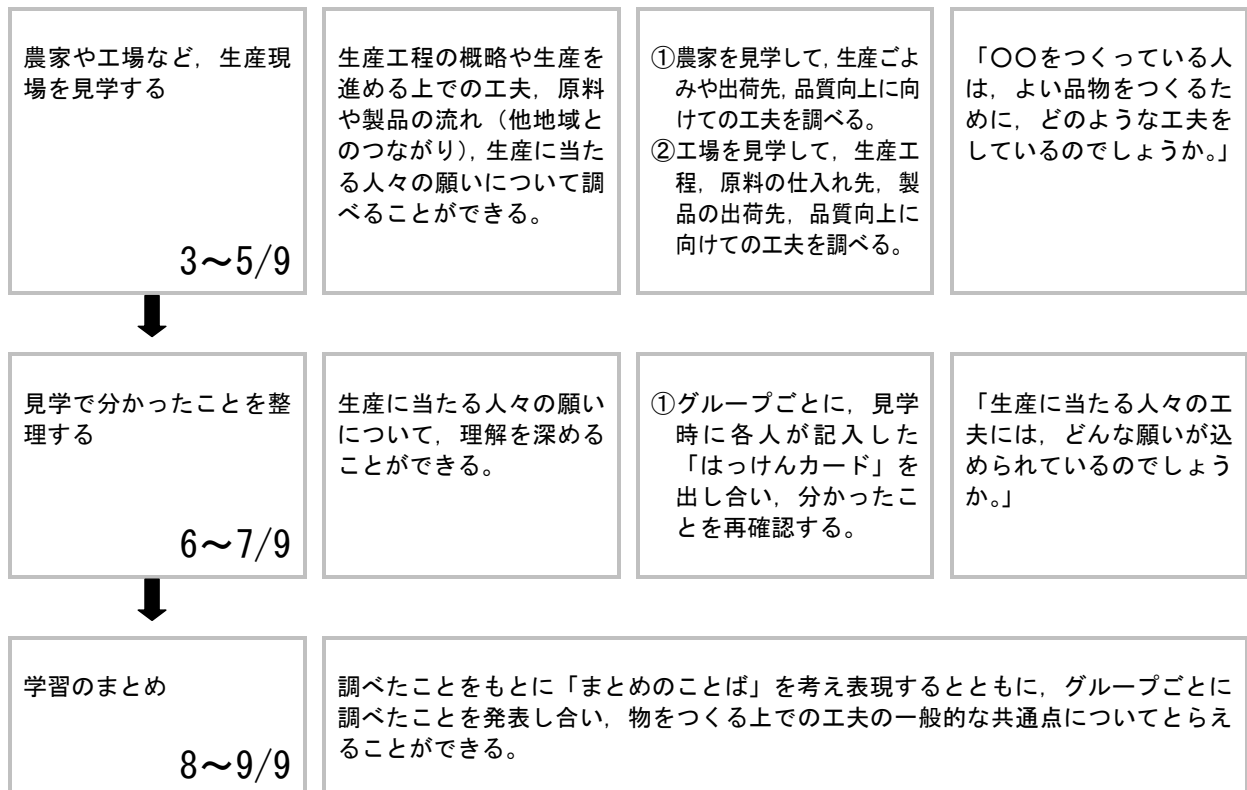
地域に見られる生産の仕事に関心を持ち、いちご農家とおかし工場を例に、それは自分たちの生活と関わりがあること、また、生産の仕事の特色や国内外の他地域との関わりなどについて調べ、仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
農家や工場など、地域に見られる生産の様子や人々の仕事に関心を持ち、意欲的に調べたことをもとに、地域に見られる生産の仕事について考えようとしている。	農家や工場では、どのような工夫をして品物をつくっているのか、学習問題をもって追究し、調べたことをもとに、生産の仕事に携わる人々の工夫について、適切な言葉で表現している。	農家や工場を例に、次のことについて見学したり調査したりして具体的に調べ、記録している。 ・品物の生産の様子 ・消費者に喜ばれる品物をつくる工夫 ・その生産がさかんになったわけ	農家や工場の見学を通して、生産の様子、原料の仕入れ先や製品の送り先、各種の工夫などが分かり、また工場では、国内の他地域や外国との関わりもあつことを理解している。

③小単元の学習の流れ(9時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
学習問題をつかむ 1/9	市内やその近郊でつくられている農作物や工業製品を知り、それらがどのようにつくられているかという学習問題をつかむことができる。	①市の自慢のものを探し、そのつくり方について関心を高め、学習の問題をつかむ。 ②調べたい対象ごとにグループ分けする。	「市で自慢の〇〇は、どのようにつくられているのでしょうか。」
↓			
調べる計画を立てる 2/9	選んだ対象のつくり方をどのように調べたらよいか、調べる計画を立てることができる。	①選んだ対象のつくり方を予想し合いながら、それをどうやって確かめたらよいかを考える。	「それをつくっている人には、どんな願いがあるのでしょうか。」
↓			



④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
B 農家や工場など、地域に見られる生産の仕事に関心をもち、観察したり見学したりして、意欲的に調べていた。	B 学習計画にそって調べを進め、工場での生産の様子や、働く人々が消費者に喜ばれる品物をつくっていることの意味を考えていた。	B 農家や工場を例に、製品がつくられるまでの様子や働く人たちの工夫などについて、「はっけんカード」に書きとめたりして具体的に調べていた。	B 農家や工場では、原材料の吟味や製品の種類の多様化など、消費者のニーズを考えて生産していることを理解していた。
A B基準に加え、地域の生産の活動に関心を深め、他の工場や農業の仕事についても調べようとする、意欲的な態度が見られた。	A B基準に加え、生産の仕事をしている人々は、消費者のニーズを受け止めて仕事をしていることを考え、新聞などで適切に表現していた。	A B基準に加え、「はっけんカード」を、生産の仕事をしている人々の工夫が分かるように整理していた。	A B基準に加え、工場では、原材料の仕入れ、製品の販売などを通して、国内の他地域や外国と関わりがあることについても、十分理解していた。

⑤「農家や工場など、生産現場を見学する」における社会的事象についての知識・理解の評価例

この学習では、見学を通して、生産の様子、原料の仕入れ先や送り先、消費者のニーズに応えた工夫などが分かり、また、原料や材料の仕入れ、製品の販売などを通して、国内の他地域や外国と関わりがあることを理解していることが大切である。したがって、見学中の言動や書きとめたメモなどから、生産に当たる人々が消費者のニーズを考えて工夫していることを理解していなかった児童は「努力を要する」、このことを理解していた児童は「できていた」、加えて、原料や材料の仕入れ、製品の販売などを通して、国内の他地域や外国と関わりがあることについても、十分理解している児童は「よくできていた」と評価する。

●小単元 1	「火事から人びとをどう守るの」 (3・4年上教科書 p.82~99)
---------------	---

①小単元の目標

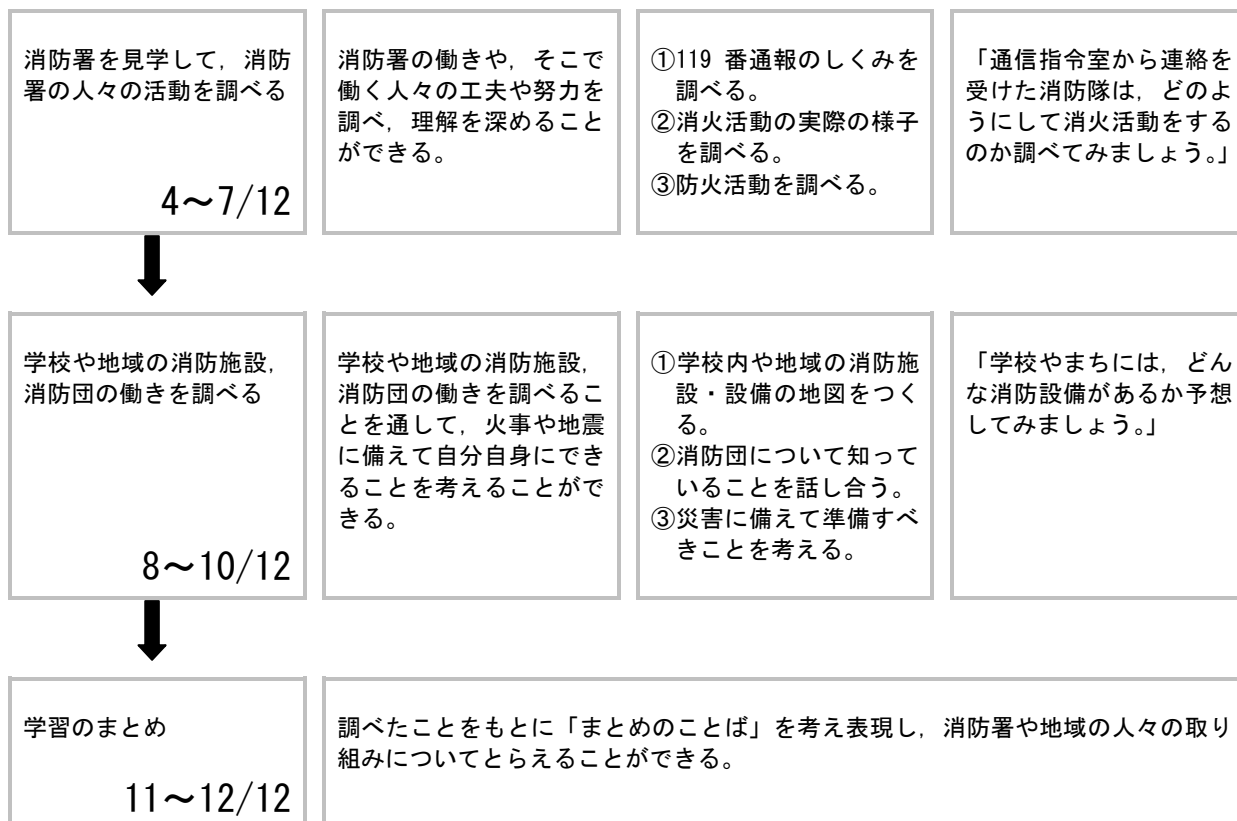
火事から人々の安全を守る活動に関心を持ち、消防署を中心とした緊急に対処する体制、火災現場での活動、また、火事に備える消防署の仕事や地域の消防施設、消防団の活動などについて調べ、人々の安全を守るための関係諸機関の働きと人々の工夫や努力を考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
<p>火事から人々の安全を守る活動に関心を持ち、意欲的に調べたことをもとに、地域の人々の願いを実現していくために、地域社会の一員として、自分にもできる協力方法を考えようとしている。</p>	<p>火事から人々を守るために、消防署や地域ではどのような活動をしているのか、学習問題をもって追究し、調べたことをもとに、関係諸機関の働きと、そこで働く人々の工夫や努力を考え、適切な言葉で表現している。</p>	<p>次のことについて見学したり調査したりして具体的に調べ、その過程や結果を整理して記録している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事が発生したときの関係機関の対処や消火活動などの様子 ・火事に備える地域の消防施設や設備、地域の人々の協力など 	<p>火事から人々を守るために、消防署を中心に、関係機関が緊急に対処するしくみがあること、そこで働く人々の工夫や努力、地域に防火施設が備えてあること、また、地域の人々の協力が欠かせないことを理解している。</p>

③小単元の学習の流れ(12時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
<p>学習問題をつかむ</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em;">1/12</p>	<p>火事は人々の生命や財産を奪ってしまうおそろしいものであることに気づき、消防活動に関心を持ち、学習問題をつかむことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①消火活動の様子の写真から、気がついたことを話し合う。 ②火事から人々を守るための活動を調べる学習問題をつくる。 	<p>「消防署の人たちは、わたしたちのために、どんな活動をしているのでしょうか。」</p>
<p>↓</p>	<p>消防署などでは、火事から人々の安全を守るため、どんな活動をしているか、調べる計画を立てることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①消防署などが行っている活動を予想する。 ②予想を確かめる方法を話し合う。 ③調べる計画を立てる。 	<p>「調べることをはっきりさせ、それにしたがって計画を立てましょう。」</p>
<p>消防活動について調べる計画を立てる</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em;">2~3/12</p>	<p>↓</p>		



④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
B 火事から人々の安全を守る消防署などの活動に関心をもち、意欲的に調べていた。	B 学習計画にそって調べを進め、火事から人々を守る、消防署を中心とした活動の働きを考えていた。	B 火事が発生したときの関係諸機関との連絡、消火活動の様子などを、消防署の見学などによって調べ、気づいたことをノートに書いていた。	B 火事から人々を守るための、消防署を中心とした関係諸機関の緊急に対処する体制と、そこで働く人々の工夫や努力の様子を理解していた。
A B基準に加え、火事から人々の安全を守る活動に関心を深め、進んで防火ポスターの作成をよびかけるなど、自分にもできる協力の方法を考えていた。	A B基準に加え、火事から人々を守るための関係諸機関の働きとそこで働いている人々の工夫や努力を考え、防火ポスターなどに適切に表現していた。	A B基準に加え、関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力が分かるようにノートに整理していた。	A B基準に加え、地域の消防団の働きや、消防施設の分布、人々の協力などについても、十分理解していた。

⑤「消防活動について調べる計画を立てる」における観察・資料活用の技能の評価例

この学習では、消防署などでは、火事から人々の安全を守るため、どんな活動をしているか調べる計画を立てることが大切である。したがって、学習問題がつかめず、予想ができず、調べる計画を立てることができなかった児童は「努力を要する」、学習問題に対してこれまでの経験などから予想を立て、それを検証する方法を話し合いおよその学習計画を立てることができた児童は「できていた」、加えて、消防署の見学での見るべきポイントや質問の内容がはっきりしていたり、調査の対象を消防署だけでなく地域の人々にまで向けていたりしていた児童は「よくできていた」と評価する。

●小単元2	「じこやじけんから人びとをどう守るの」 (3・4年上教科書 p.100~113)
--------------	---

①小単元の目標

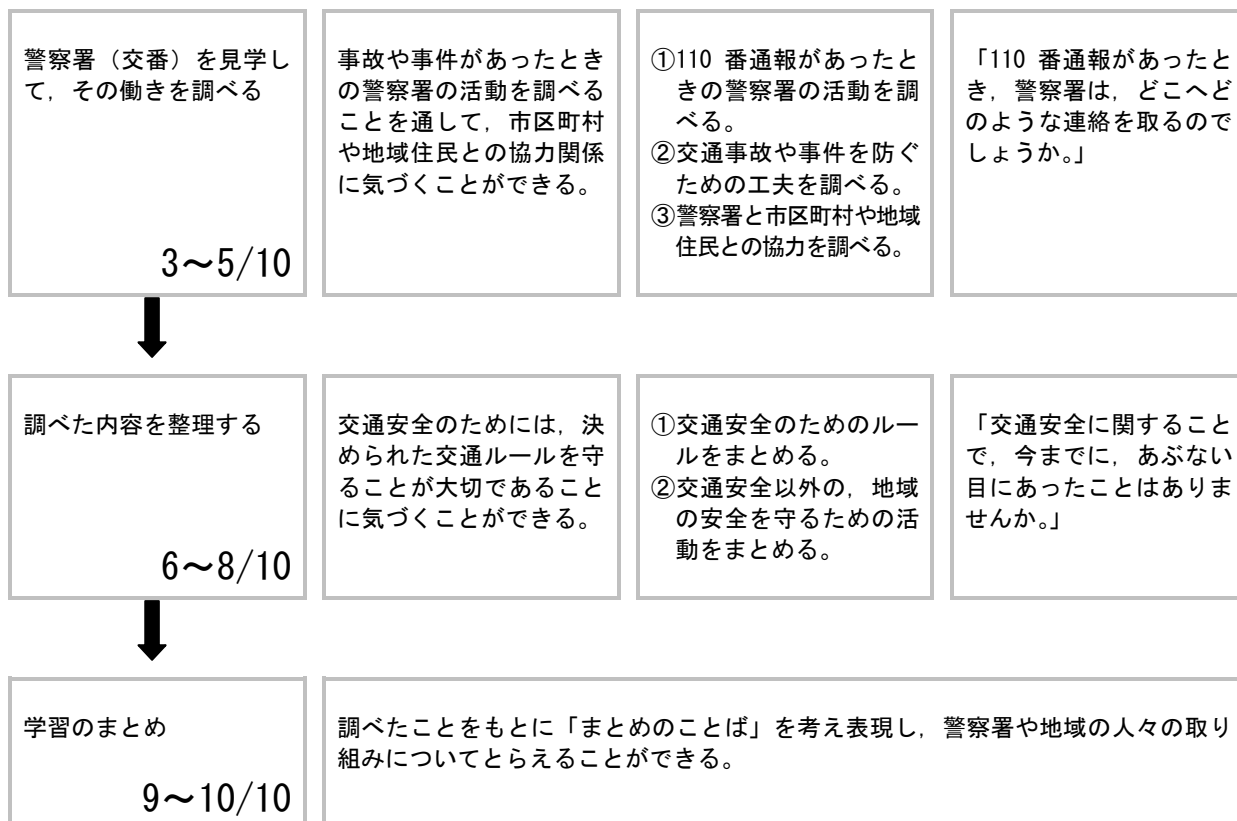
交通事故のない安全なまちづくりに関心をもち、交通事故が起きたときの警察署を中心とした緊急に対処する体制、また、交通事故を防ぐための警察署の活動、交通事故のないまちづくりなどについて調べ、人々の安全を守る警察署など関係諸機関の働きと、地域の人々の協力の大事さを考えるようにする。

②評価規準の設定例

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
<p>交通事故から人々の安全を守るための活動に関心をもち、意欲的に調べたことをもとに、地域の人々の願いを実現していくために、自分にもできる協力の方法を考えようとしている。</p>	<p>交通事故のない安全な地域にするために、人々はどのような活動をしているのか、学習問題をつかみ、調べたことをもとに、警察署の働きと人々の工夫や努力を考え、適切な言葉で表現している。</p>	<p>次のことについて見学したり調査したりして具体的に調べ、その過程や結果を整理して記録している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が起きたときの活動 ・交通安全の活動 ・その他の警察署の活動 	<p>交通事故や事件が起きたときの、警察署を中心とした関係機関の活動の様子、そこで働く人々の工夫や努力、地域の安全を守るためのまちづくりと人々の協力の必要性を理解している。</p>

③小単元の学習の流れ(10時間扱い)

学習事項	めあて	おもな学習活動	おもな発問例
<p>学習問題をつかむ</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">1/10</p>	<p>交通事故のおそろしさを知り、交通安全のためのしくみや活動・施設に関心をもち、学習の問題をつかむことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①交通事故の写真やグラフを見て感じたことを出し合う。 ②交通事故についての作文を読んで、感想を書く。 	<p>「交通事故のグラフを見て気がついたことはありませんか。」</p>
<p style="font-size: 2em;">↓</p>	<p>交通事故を防ぐための活動を調べる計画を立てる</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">2/10</p>	<p>交通事故から人々の安全を守るためにどんな活動が行われているかを予想し、確かめるための調べる計画を立てることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①交通事故のない安全な地域にするために、人々はどのような活動をしているかを予想する。 ②予想したことをもとに調べる計画を立てる。 	<p>「みんなを交通事故から守るために、誰がどのような活動をしているかを予想してみましょう。」</p>
<p style="font-size: 2em;">↓</p>			



④評価基準の参考例

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解
<p>B 交通事故から人々の安全を守る警察署などの活動に関心をもち、見学やVTR、教科書を活用して、意欲的に調べていた。</p>	<p>B 計画にそって調べを進め、交通事故などから安全を守る警察署を中心とした人々の働きの意味を考えていた。</p>	<p>B 交通事故が発生したときの、警察署などの活動の様子、警察官の日常の工夫や努力などについて、気づいたことをノートに書いていた。</p>	<p>B 交通事故が発生したときの警察署の働きや、そこで働く人々の工夫と努力を理解していた。</p>
<p>A B基準に加え、人々の安全を守る活動に関心を深め、進んで交通安全地図を作成するなど、自分にもできる協力の方法を考えしていた。</p>	<p>A B基準に加え、調べたことをもとに、警察署の働きと、そこに従事している人々の工夫や努力を考え、適切な言葉で表現していた。</p>	<p>A B基準に加え、警察署の働きや警察官、地域の人々の工夫や努力が分かるようにノートに整理していた。</p>	<p>A B基準に加え、交通安全のまちづくりをめざす、警察署や市の取り組み、その他の警察署の活動や地域の人々の協力についても、十分理解していた。</p>

⑤「学習のまとめ」における社会的な思考・判断・表現の評価例

この学習では、調べたことがらをもとに、人々の安全を守る警察署など関係諸機関の働きと地域の人々の協力の大事さについて、自分の考えを適切な言葉で表現することが大切である。したがって、まとめのことばに、警察署など関係諸機関の働きと地域の人々の協力の大事さを考える内容が乏しかった児童は「努力を要する」、「警察署や地域には、わたしたちの安全を守るためのしくみがあり、大勢の人たちが力を合わせている」といった内容の言葉が書けた児童は「できていた」、加えて、警察署の働きや地域の人々の協力について、自分や家族の生活と結びつけて考えたことを適切な言葉で具体的に表現できた児童は「よくできていた」と評価する。